

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

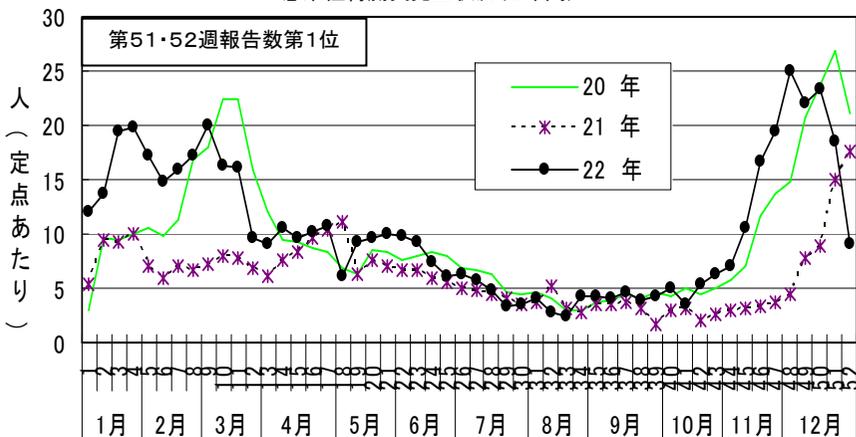
平成22年12月20日（月）～26日（日）〔第51週〕及び平成22年12月27日（月）～平成23年1月2日（日）〔第52週〕の感染症発生状況

第51・52週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)水痘でした。

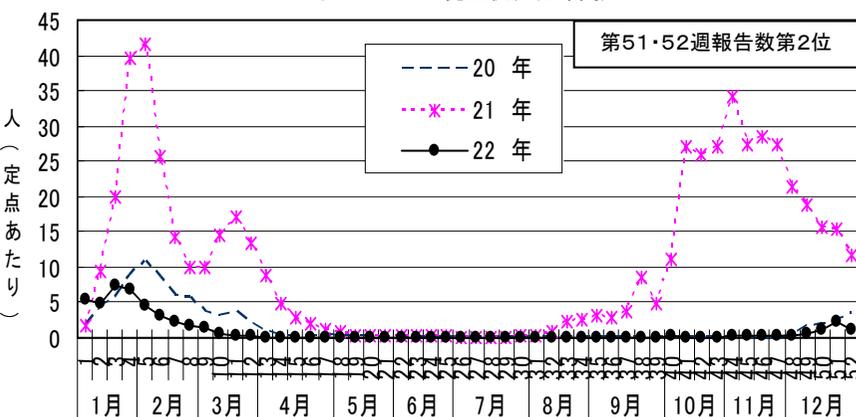
第52週は、年末年始で医療機関の休診日が多く、報告数は全体的に減少しています。インフルエンザについては、第51週で定点あたり2.40人と前週（1.11）に比較して増加しております。第52週については、前述の年末年始と学校等の冬期休業等の影響により定点あたり1.10人となっております。そのため、年明け以降、特に学校等が始業した際には再び患者報告数が増加することが推測されますので、引き続き感染予防対策の徹底が重要です。

本市のインフルエンザウイルス分離状況は、第51週で香港型2件、昨年流行した新型インフルエンザが6件となっております、第52週は検体の提供がありませんでした。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



## 感染予防の基本は『手洗い』から！！～正しい手洗い方法～

新年を迎え、新たな生活がこれから始まります。新年早々から「体調を崩してしまった・・・」という状況は避けたいところです。

例年、冬に流行する感染症として「感染性胃腸炎」と「インフルエンザ」があります。今回も、患者報告数の多い感染症第1位と第2位を占めております。その中でも、徐々に流行の兆しをみせているインフルエンザの予防にも有効な方法として、「手洗い」「うがい」「咳エチケット」「マスク」などの方法があります。前週に「咳エチケット」を紹介したので、今回は、感染性胃腸炎にも有効である『手洗い』を取り上げたいと思います。



手洗い前のチェックポイントとして

- ①爪は短く切ること
- ②時計や指輪を外すことも重要です。

石けん液を泡立てながら、もみ洗いをしましょう。洗ったあとに手をしっかり乾かすことも大切です。

～このときは必ず手洗いを！～

- ①帰宅時
- ②トイレのあと
- ③食品を取り扱うとき
- ④食事の前
- ⑤咳やくしゃみを手で押さえた後
- ⑥オムツ交換時 など



「手洗い」は、多くの感染症に有効な予防方法です。正しい手洗いの習慣を身につけましょう。

